

# 阿武火山群（海域）における海底地形について\*

## The Results of Bathymetric survey in and around Abu Monogenetic Volcano Field

海上保安庁  
Japan Coast Guard

海上保安庁では、海域における基盤的情報整備のため、平成21年7月から10月にかけて山口県萩市沖において海底地形調査を実施した。

調査は、第七管区海上保安本部（北九州市）所属の測量船「はやしお」（27総トン）を使用し、マルチビーム測深機により実施し、当該火山群の海域における詳細な海底の地形（第1図）を把握することができた。

海域では、単成火山活動により形成された島々周辺の詳細な様子の他、以下に特徴的な海底地形を示す。

### 1 羽島礁（ハシマグリ）・・・第2図

北方側に溶岩流による皺状地形（黒色破線内）が明瞭に確認できた。

皺状地形の幅は皺の山（谷）に沿って約1km、長さはそれと直交する方向に約500m、皺の比高は約30cm～100cmであった。

### 2 ツバ瀬・・・第3図

リッジ状の地形（黒色破線内）が確認できた。

平成7年に実施の沿岸海の基本図での音波探査記録によると同地形は、更新世の堆積層と指交関係にある火成岩とされている。

### 3 笠山・・・第4図

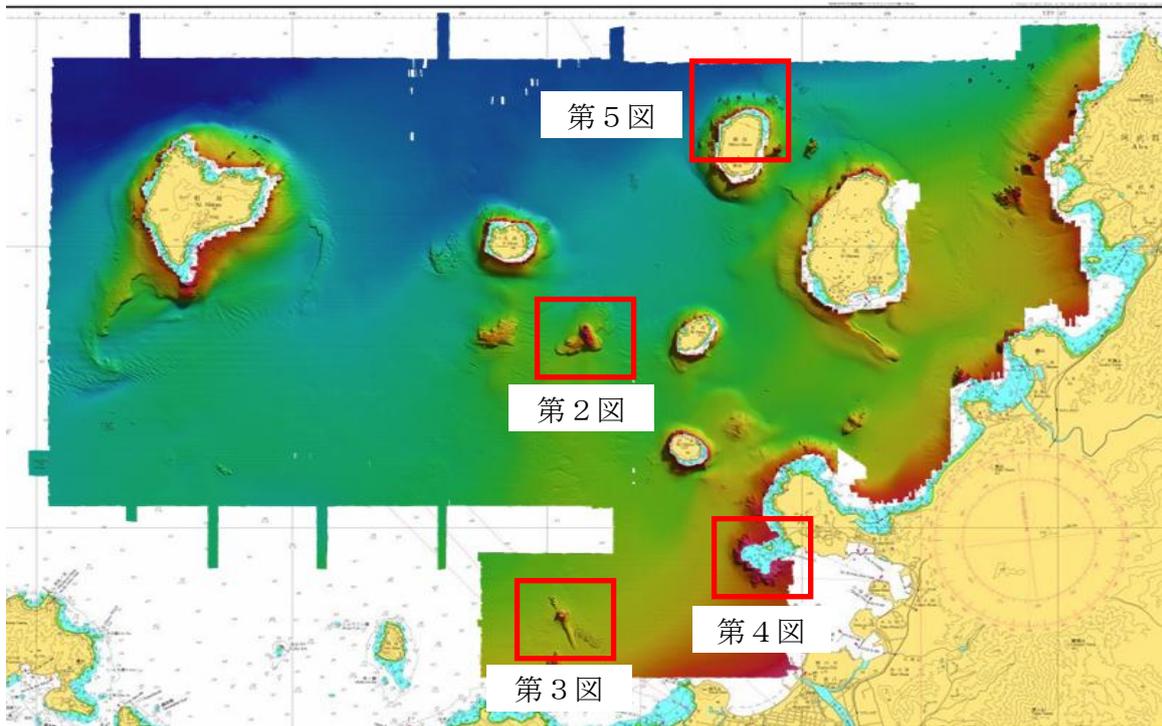
南西側浅瀬の北西側から南西側に向け、溶岩が海底へと流入したと思われる痕跡（黒色破線内）が確認できた。

笠山が形成された約1万年前は、現在よりも海水準が低く、陸上で固まった溶岩流が、海水準の変動によって海面下に没したものと推測される。

### 4 櫃島・・・第5図

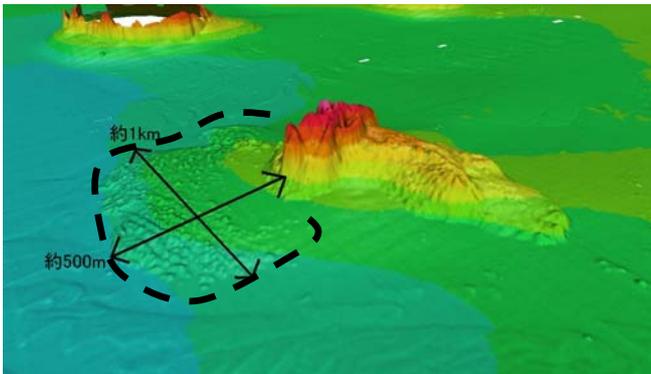
北側海岸は、海食によって露出された柱状節理が認められ、当該地形はその延長にあると思われる。





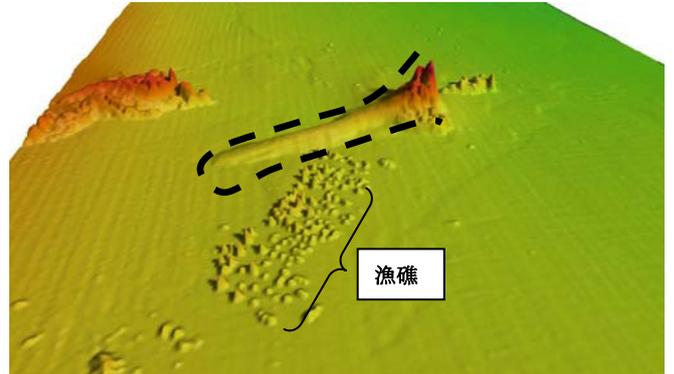
第1図 調査海域の海底地形

Fig.1 Seafloor in Survey area



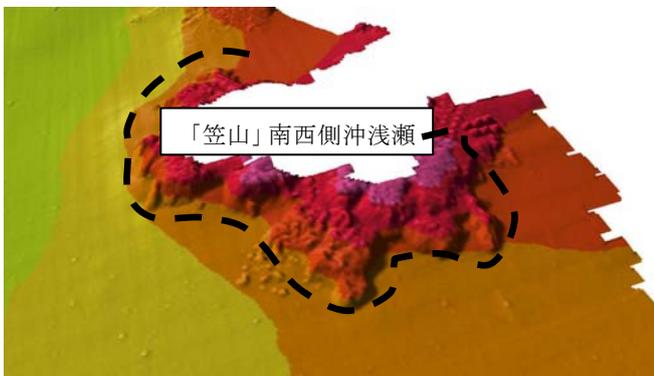
第2図 羽島礁

Fig.2 Hashima Guri



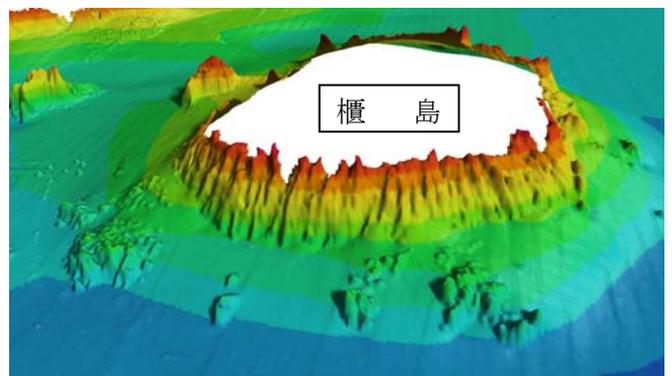
第3図 ツバ瀬

Fig.3 Tubase



第4図 「笠山」南西

Fig.4 Southwest of Kasayama



第5図 櫃島

Fig.5 Hitsushima

参考文献

永尾隆志・半田正敏（1985）：萩市笠山周辺の新生代火山岩類．日本地質学会第92年学術大会見学旅行案内書，119-136．

海上保安庁（1996）：沿岸海の基本図「青海島」．

永尾隆志・高島 勲・角縁 進・木村純一（2001）：阿武単成火山群の熱ルミネッセンス年代-萩・笠山火山のスコリア丘は3,000年前に噴火した-，日本火山学会秋季大会．